

Essay

Sapiarc.com

2016年6月17日(2016-2)

イチローの大記録に思う

現在メジャーリーグ・マーリンズに所属しているイチロー（鈴木一郎）選手が、日本時間の16日(現地時間では15日)、日米通算で4257本目になるヒットを打って、世界一になった。メジャーリーグだけだと、ピート・ローズの4256本が記録だが、イチローはメジャーリーグだけだと2979本だ。だから、イチローの記録はたいしたものではないと言いたい人もアメリカにはいる。当のピート・ローズがそう言っている。逆に、そういうことを言うのは、日本のプロ野球のレベルの高さを知らないからだという意見もあるそうだ。こういうことで言い合いをしても決着がつくことはないだろう。イチローは世界一、ピート・ローズはメジャーリーグだということにしておくのがよさそうに思える。

私が興味をもったのは、朝日新聞の遠田寛生記者が行ったインタビューで、イチローが『偉大な数字を残した人がたくさんいますが、その人が偉大だとは限らない。むしろ反対の方が多い。人格者だったら出来ないともいえるけど、特別な人たちはいる。だから、そういった人たちに、この記録を抜いて欲しい。』と言っていることだ。これは、つい本音が出てしまったのだろうが、イチローもそういう感じをもっていることがわかって、私は面白いと思った。

歴史上また現状で、政治家、産業人、軍人、芸術家、芸能人、アスリート、作家、学者その他さまざまな領域で活躍した(している)人で、有名人はたくさんいる。ノーベル賞受賞者も今では多数に上っているが、ノーベル賞受賞者は

すべて人格者か？という問いには、ノーと答えるしかないと思う。現存のノーベル賞受賞者を問題にするのは差しさわりがあるので、すでに死去しているポーリング（Linus C. Pauling, 1901-1994）について述べよう。

Pauling は、化学の世界での天才だった。若いときの彼が考え出した「共鳴」や「軌道混成」の概念は、一世を風靡した。これらは化学の常識になっており、今では誰が最初に考えたことかを答えられる学生は少ないだろう。1939年出版の“The Nature of the Chemical Bond”，1947年出版の“General Chemistry”は、1960年代まで大学の化学の教科書として世界中で使われた。彼が行った研究の幅は極めて広く、現在の生体関連化学の先駆者でもあった。

1954年にノーベル化学賞を受賞して以後、ポーリングは核実験反対の平和運動に精力を注ぎ、1963年にはノーベル平和賞を受賞した。しかし、この過程で、彼は勤務先のカリフォルニア工科大学(Caltech)と問題を起こしている。それ以後、彼はビタミンCがあらゆる病気を予防または治療することに役立つという説を立て、それを証明するために、いろいろなことをしたが、その中でいざこざを起こすようになり、いくつもの訴訟を起こしたり、起こされたりしている。

つまり、60歳以後の彼には、支持する人もいたが、支持しない人も多くなり、人格者などというイメージはなくなってしまった。それでも、彼が90歳になったとき、アメリカ化学会

は基幹雑誌“Journal of American Chemical Society”で、ポーリング記念号を出したが、ポーリングはその出版を喜んでいなかったようだ。

1980年に、彼は夫人同伴で来日した。これが彼の最後の来日になったはずだ。招待したのは、彼のビタミンC万能薬説に共鳴していた医師のグループだったようだが、電子スピン共鳴の測定とも無関係ではなかったので、この測定装置を製造販売していた日本電子株式会社が多分招待費用を負担したのだろう。その日本電子が、1980年4月7日に、ポーリング夫妻のための立食パーティーを開催した。そのとき、私は懇意にしていた当時の分析機器営業担当部長から頼まれて、司会の役を務めた。ポーリングの名前はたいしたもの、多分150人ぐらいの化学者があっさり集まった。ポーリング夫妻以外はすべて日本人だったから、英語で司会するのは変な感じだったが、通訳を雇ってくれという考えは、その時私には浮かばなかった。ともかくパーティーは順調に進んで、大勢の人が、彼がサインした色紙をもらった。私は今でもそれを持っている。そのときのポーリングは普通の人に見えて、とくに問題を抱えているような感じはなかった。

科学者に関しては、人格と研究業績に正の相関関係はないと言わざるを得ない。研究には相応の費用がかかるので、その点からも問題は複雑化する。費用がかかるだけならば、まだ問題は少ないが、研究成果が金儲けに繋がると、一段と面倒になる。今及び将来の世界での、非常に難しい問題だと言えるだろう。

話を元に戻すと、イチローは50歳になるまでメジャーリーグの現役選手でいたいと思っているようだ。そのために、毎日人知れず身体の鍛錬を続けている。彼が怪我をしないで、これからは試合に出て、ヒットを打ち続け、ピート・ローズのメジャーリーグ記録を超えることができれば、どんなに素晴らしいか。がんばれイチロー！（おわり）